



当院が認知症疾患医療センターに指定されました

精神科神経科

森 崇 洋

高齢化の進展に伴い、認知症患者数は急速に増加しています。香川県内の認知症高齢数は平成17年に2万人を超え、平成32年には3万人を超える見込みです。

認知症は早い段階で診断を受け、早期に適切な治療を行うことで、進行を遅らせることが可能です。早期発見・早期治療により、患者さん本人が元気で過ごせる時間が増え、介護に当たる人も余裕を持って介護にあたることができます。

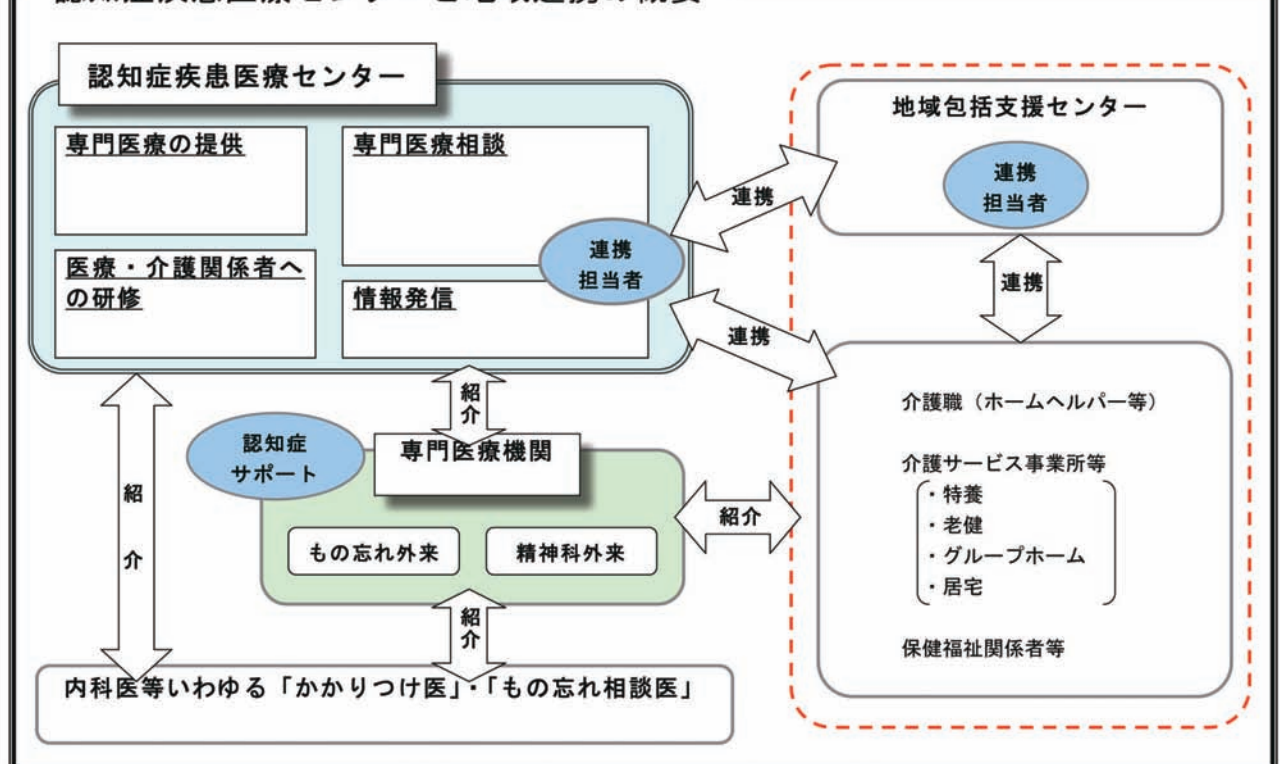
平成20年度から国の政策で「認知症疾患医療センター運営事業」が始まりました。この事業は、県が「認知症疾患医療センター」を指定し、認知症に関する専用の相談窓口を設けて無料で相談に応じるとともに、診察したり、地域の認知症専門医療機関への紹介などを行うというものです。全国で150ヶ所を目標に設置されつつあります。香川県では平成23年10月1日より6ヶ所の医療機関が「認知症疾患医療センター」に

指定され、活動を開始しています。当院は大川保健医療圏（東かがわ市、さぬき市）と三木町を担当する地域型センターとして指定されました。

センターでは専門の窓口を設け、専門の職員が無料で相談を受け付けます。その後、早期受診・治療に向けて、かかりつけ医やもの忘れ相談医、専門医療機関、地域包括支援センターと連携を図りながら、疾患の原因を特定するための診断や治療方針の選定、周辺症状への対応などを行います。また医療・介護関係者の知識向上を図る研修会を実施し、地域の認知症疾患への対応能力向上を目指します。

精神科神経科では高度な診断機器や臨床心理検査などを活用して、認知症の鑑別診断に力を入れています。また積極的に研修活動を行い、医療・介護関係者の認知症についての知識の向上や、一般の方への啓発活動に一層取り組む所存です。皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

認知症疾患医療センターと地域連携の概要



チーム香川イベントについて

中核病院機能強化支援室長 松岡 實夫

平成23年11月13日(日)県立丸亀競技場にて「チーム香川プレゼンツ カマタマーレ讃岐VSウーヴァ栃木FC」を開催致しました。当日は快晴に恵まれ、気持ちのいいイベント日和となり、お蔭様で多くの方が来場下さりいろいろな体験をしていただくことが出来ました。「万歩計で歩数に挑戦!!」は、100名様限定だったの為、早々に配り終わり、お断りした方も数名いらっしゃり申し訳なかったです。多くの小さいお子さんは、入口ゲートで並んでいる間もその場で駆け足するなど必死になって歩数を稼いでくれました。最高は小学生の15,000

歩強でした。AEDの講習会では、医学部のACLS勉強会の学生さんがボランティアスタッフとしてお手伝い頂き、自分達で声かけして参加者を呼んでくるなど若いパワーで活躍してくれました。試合後は、カマタマーレ讃岐の選手がブースまで来て各測定を体験していただきブースを賑やかにするなどご協力下さいました。多くの方に健康測定や体力測定をしていただき糖尿病を含む生活習慣病予防のよいきっかけになったのではと思います。



第1回地域医療教育支援センター運営委員会を開催しました

地域医療教育支援センター長 大森 浩二

7年ぶりに香川県を通過した台風12号が近づく、9月1日に高松市内で第1回地域医療教育支援センター運営委員会を開催しました。同委員会規程に則り、当センターの運営について、本学内外の委員が討論、情報交換を行ったものです。学内からは、千田彰一病院長、副学長で病院参与の石田俊彦先生、医学教育センター長の岡田宏基教授、院内支援教員、当センターメンバーらが、学外からは、県内の地域医療担当施設(土庄中央病院、内海病院、陶病院、三豊総合病院、さぬき市民病院、坂出市立病院、済生会病院)に所属する当センターの副センター長、支援教員、および、香川県庁からは健康福祉部医務国保課長らに出席いただき、19名による会議となりました。

今回の議題は、委員会発足の確認と、主に、今年度から開始した医学科5年生、6年生を対象とした地域医療実習についての情報交換が行われました。現在、国策として全国的に地域医療教育に大きな期待が寄せられていることを再確認した上で、当センターから、スキルスラボ着工の報告に続き、“地域医療支援ネット

ワーク”を用いて実習中に学生、実習先の指導教員に対して行っているWebアンケートの、夏休みまでの集計・解析結果を報告しました。すなわち、学生からも教員からもプログラム全体としては高い評価を得たこと、「実習を通して地域医療に貢献できるよう向上した」という学生による到達度自己評価と「プライマリケアの体験」の自己評価のスコアに比較的強い相関が見られたこと、施設によって到達目標別の達成度にバラツキがあることなどを報告しました。これに対して、各実習病院の副センター長の先生方から、それぞれの実情に応じた実習状況の報告、改善点の提案など、貴重なご意見をいただきました。

予定時間を大幅に上回る活発な討議が行われ、メンバーの熱意が強く感じられました。この運営委員会の開催により、参加者一同に、香川県内の地域医療教育の充実にむけて、さらには、よい臨床医に県内で活躍してもらえるよう努力を惜しまないという意志を共有できたように思います。次回は来年度のプログラム編成を中心議題として開催する予定です。

Welcome Ms Rujee Rattanasathien

副看護部長 三野 満子

香川大学は1990年～タイ国チェンマイ大学と学術交流協定を締結し、交流を深めてきました。今回、平成23年9月5日～11月25日まで **Rujee Rattanasathien** さんが脳梗塞治療分野の見学研修の目的で来院しています。彼女は2008年チェンマイ大学 看護学修士、2009年タイ国看護協会 内科・外科先進医療看護師認定を取得し、マハラジャ・ナコーン・チェンマイ病院 急性脳梗塞治療室と神経専門外来で先進医療看護師として勤務しています。職業人としてキャリアアップ指向を持ちつつ、妻、母の役割もこなすスーパーウーマンです。まじめで自立心旺盛で、静かですが1本筋の通った女性、そんなイメージを感じています。日本語の勉強中ですので、皆さんからどんどん声をかけて下さい。

Rujeeさんの研修を契機に、看護師の交流が一層活発になり、視野が広がることを期待しています。

ウェルカムパーティーにて。
彼女がRujeeさん。



救命センタースタッフとの食事会。
この時は、ちょっとホームシックになって
いたので、元気づけようと!!



ロンドン大学マクフィー先生が本学を訪問

国際交流委員会



平成23年10月15日～21日の間、本学医学部が国際交流を2009年から開始したロンドン大学セントジョージ医学校から、イアン・マクフィー先生（腎臓内科）が医学部および附属病院を訪問されました。マクフィー先生は、臨床医学研修プログラムを担当されており、本学6年次生が同大学で臨床研修をする際の窓口となっています。①日本の医療および医学教育の情報交換、②香川大学医学部生の臨床研修の見学、③学生の臨床研修留学の報告会、④問題解決型学習PBLのデモ、⑤教員向けの医学研修セミナー、⑥腎移植をテーマとした研究交流、⑦学生との交流会、などを精力的にこなされました。何よりの成果は、本学学生の意欲の高さと優秀さ、病院での研修レベルの高さを実感されたことでしょう。

平成23年度 第4回日本DMAT隊員養成研修実施報告

総務課企画調査係 山形 康彰

9月15日から18日の4日間、兵庫県災害医療センターで行われたDMAT研修に個人受講者として参加しました。

研修には、日本各地から8病院のチーム受講と10名の個人受講がありました。講義やグループディスカッションといった座学のほかに、トランシーバーや衛星携帯電話の実技があり、3日目には認定試験（筆記・実技）、4日目は広域防災センターへ場所を移し、実践形式での広域医療搬送訓練や、消防救助隊と合同でCSMの訓練がありました。



第94回全国国立大学附属病院薬剤部長会議が開催されました

薬剤部

香川大学が担当校となり、第94回国立大学附属病院薬剤部長会議が去る平成23年10月13日、14日の両日に渡り、全日空ホテルクレメント高松において開催されました。

会議には、文部科学省から高等教育局医学教育課大学病院支援室長補佐を初めとする方々のご臨席いただき、国立大学42大学の薬剤部長、オブザーバーとして附置研、歯学部、公立大学、私立大学代表校の薬剤部長ら総勢53名の関係者が出席しました。

同会議では、文部科学省よりご講演を頂くとともに国立大学附属病院薬剤部長会議常置委員会及び参加者から提案があった議題や報告事項について活発な討議が行われました。情報交換会には、学長、病院長及び事務部長等もご出席いただき、活発な意見交換が行われました。



外来受診の予約について

患者サービス課

本院では、**電話による初診・再診とも外来受診予約は行っておりません。**予約方法は、(1)地域の医療機関から地域連携室を通じFAX予約をする方法 (2)診察時に主治医が次回受診日の予約をする方法です。(1)の「予約」がなく「紹介状」だけお持ちの方、「予約」も「紹介状」もない方は、診察まで時間がかかります。再診の場合、予約のない場合は来院の上、11:00までに受け付けして下さい。

院内イベントのお知らせ

患者サービス課

平成23年を締めくくる二つの院内イベントを開催いたします。

一つ目は、12月12日(月)から16日(金)に行う「職員作品展覧会」です。皆さんと病気に立ち向かう当院教職員が日々の診療業務の合間に作成した力作を皆さんに観覧して頂き、共に戦う同志の知られざる一面をお見せします。平成4年度から始めたこの作品展覧会は数えて20回目となります。

二つ目は、12月14日(水)に開催する60分間の「第21回クリスマス音楽会」です。毎回トリを務める新人看護師合唱隊が皆さんに元気になってもらえるような歌を選曲し披露します。

**伝えてください
あなたの痛み**

がん患者さんの 痛みのない療養生活をサポートします!

Kagawa University Hospital Kanwa Care Team
香川大学医学部附属病院 がん診療・緩和ケア支援

-Itami Support Team

患者さんの 痛み サポート チーム



病院玄関前
イルミネーション
(12/1~1/10)
昨年の様子

イベントカレンダー H23.12月~H24.2月 予定表

日時	時間	場所	名称及び内容	担当	担当
12/4 日	午後予定	看護学科	第4回香川県小児保健協会研究会	小児科	(087)891-2171
12/14 水	19:00~20:30	子どもと家族・心の診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・心の診療部	(087)891-2420
12/17 土	13:00	臨床講義棟1階	平成23年度産産期医療従事者研修会	小児科	(087)891-2171
12/18 日	9:00~15:00	香川県歯科医師会館	口腔がんスキルアップセミナー	歯・顎・口腔外科	(087)891-2227
1/11 水	19:00~20:30	子どもと家族・心の診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・心の診療部	(087)891-2420
1/16 月	18:00~19:00	臨床講義棟1階	NST勉強会「癌治療に伴う栄養(ブレイクス)」	腫瘍センター	(087)891-2054
1/20 金	14:00~16:00	患者図書室オリーブの郷	がん患者サロン	腫瘍センター	(087)891-2363
1/21 土	10:00~11:30	香川大学生涯学習教育研究センター	香川大学公開講座 第1回「手術と手術室の安全を支える」	手術部	(087)832-1273
1/28 土	10:00~11:30	香川大学生涯学習教育研究センター	香川大学公開講座 第2回「手術は、その周囲環境はどう変化したか」	手術部	(087)832-1273
2/4 土	10:00~11:30	香川大学生涯学習教育研究センター	香川大学公開講座 第3回「疼痛管理」	手術部	(087)832-1273
2/4~5 土日		岡山大学医学部臨床第二講義室	第57回日本臨床検査医学会中国・四国支部総会 第152回日本臨床科学会中国支部例会・総会 第22回日本臨床科学会四国支部例会・総会 第8回合同地方会	検査部	(087)891-2278
2/8 水	19:00~20:30	子どもと家族・心の診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・心の診療部	(087)891-2420
2/18 土	9:00~10:00	香川大学病院医学部手術室	香川大学公開講座 第4回「手術室の概説と見学」	手術部	(087)832-1273
2/18 土	9:20~16:50	アルファあなぶきホール	第8回緩和医療に関する集中セミナーin香川	腫瘍センター	(087)891-2075

平成
24年度

看護職員募集

看護師・助産師
100名募集

応募締切日
平成24年1月13日(金)

試験日 **1月20日(金)**

お問い合わせ先 **087-891-2320(看護管理室)**

**外来駐車場は患者さまのもの!!
駐車ルールを守りましょう!!**

編集委員会：乾(病棟)、梶川(検査)、加藤(放射線)、鬼村(患者サービス)、
(50音順) 白神(麻酔)、林(総務)、芳地(薬剤)、舩形(外来)、松浦(管理)、
松本(看護)、森本(看護)、横井(情報) [委員長 千田病院長]